

編集室

* 今月号は、アナログ回路や電磁波応用技術に関する興味深い記事を多数御寄稿頂きました。小特集では A・P 研の発足 50 年を機に、A・P 研にゆかりの深い技術者の皆様から、アンテナ・電波伝搬技術の研究開発の歴史を俯瞰しつつ、今後の研究開発の方向性を解説頂く特集記事を企画致しました。また解説記事では、医療分野における電磁波応用技術の動向や今後の展望・課題を総括頂き、学生/教養のページでは、私も含め悩んだ経験がある人も多い Q ファクタの多面性や奥行きについて、幾つかの側面から興味深い御示唆を頂きました。全編を通して御覧頂きますと、古くから無線通信等で培われた知見や技術ノウハウが、数十年の歳月にわたり着々と進化しつつ若い世代の皆様が蓄積・承継されていること、現在でも世界の研究開発をリードし主導けん引できる領域であること、更に医療応用や電力伝送へと適用領域を拡大し、社会や産業を変革するドライブフォースとなっていることを実感頂けるのではないでしょう

か。分野や技術領域を問わず、これまでの進化の経緯を振り返りつつ将来に向けた流れや方向感を明文化してみると、自らも新しい発見があると思いますし、他の分野の皆様の刺激、共感、新たな着想の種にもなるように思います。来年の本会創立 100 周年という節目を機に、会誌としてもそのような着眼点で記事を検討してまいります。今後の研究や技術のあり方を自由に発想頂ける場を提供できるよう努めてまいりますので、皆様の御協力・御参加をよろしくお願いいたします。

* また回想記事ではモバイルアドホックネットワークの社会応用に向けた研究開発の取組みを回想頂きました。震災復興支援など厳しい環境における社会貢献の取組みの中で得られた貴重な知見・教訓・新たなアイデアが、新たな研究や技術開発の潮流を創出し、社会や産業の新たなドライブフォースとなっていくことを期待しています。
(編集特別幹事 植松芳彦)

平成 28 年 9 月号小特集

「VDEC と LSI 設計研究・教育——LSI 設計試作のコモディティ化 20 年の歩みと今後——」 予定目次

小特集編集にあたって.....	編集チームリーダー 浅田邦博
1. VDEC の概要と沿革.....	池田 誠
2. デジタル設計支援——大学生がチップ設計・動作検証可能な環境の構築と提供——.....	小林和淑
3. アナログ回路設計の現状と将来.....	岡田健一
4. EDA 研究の観点から.....	戸川 望
5. アーキテクチャ研究の立場から.....	天野英晴
6. 集積回路のコモディティ化の意義とそれに向けた「誰でもチップ試作」の試み.....	秋田純一
7. 半導体企業から見た VDEC の活動と今後の期待.....	大池祐輔